

# 尾鷲市における生活支援体制整備 事業の取り組みについて



尾鷲市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター 山本雄一

# 自己紹介



- 43歳（社協マン18年目）
- 福祉系大学卒業後、愛知県内の特養系社会福祉法人に入社。25歳で故郷にUターンし、地元社協に入局。
- 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員。
- 地域包括支援センター、生活困窮者自立相談センター、福祉活動専門員を経て生活支援コーディネーターに。
- 現在は地域包括支援センターのセンター長をしながら生活支援コーディネーターを兼務。
- 趣味は釣り、テニス。
- 二児の父。



図表 26 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計（パターン1）

単位：人



平成27年10月尾鷲市人口ビジョンより

令和6年3月31日現在

人口：15,713人  
 65歳以上：7,241人  
 高齢化率：46.1%  
 認定率：22.49%  
 地域包括支援センター：1ヶ所（社協委託）  
 保険者：紀北広域連合



# 尾鷲市



### 尾鷲市中心部

スーパーが5つあるほかホームセンターや100円ショップ、ドラッグストア、コンビニがある。タクシー1社のほかコミュニティバスの巡回がある。

### 須賀利町

商店が5つあるほか移動販売もあり、買い物にはあまり困っていない。交通の便が悪く、特に通院に困りやすい。

人口の約8割

### 輪内地区

個人商店が0~4店舗のほか、移動販売があるが、不便を感じやすい。JR、コミュニティバスもあるが便数が少なく、不便を感じやすい。地区によっては階段しかない高台もある。

人口約2,400人の  
67.2%が高齢者





# 事業開始当初の悩み

～生活支援コーディネーターのモヤモヤ～



地域のいろんな助け合いや生活支援の情報を集めているけどそのあとどうすればいいの？

第1層協議会でSCの活動報告や把握した支援情報を報告するだけでは、地域の課題解決には繋がらない。



既存の団体はどこも今の活動で手いっぱい、なかなか課題を共感してもらっても解決するための活動には至らない。

既存団体の活動とニーズを繋ぎたいけどうまくマッチしない。このままで生活支援が充実していきんだらうか？



## 一方、地域包括支援センターでは・・・



「要支援」認定の方の買い物支援サービスが少ないので困っている。買い物につれて行ってほしいというニーズが多い。

年に数件だがゴミの戸別収集が利用できずに困っているという相談があるが、なかなかインフォーマル支援に繋がらない。



地域包括担当者とSCとで話し合い

いわゆる有償ボランティアのしくみづくりを検討しては？

➤ 生活支援のためのボランティア講座を検討することに。



### 【生活支援ボランティア講座】

- ✓ 助け合いによる生活支援の啓発
- ✓ 関心のある人、やる気のある人の発見
- ✓ 生の声が聞ける
- ✓ うまくいけば課題解決にもなる



サービスを作ることが仕事じゃないって言ってなかったっけ・・・

やってみないと分からないよ！





# 社会福祉協議会のボランティアセンター事業として

## 生活支援サポーター養成講座 「わがらの町の暮らしささえ合い塾」

### 【主なプログラム】

- ◆ 健康寿命と社会参加
- ◆ 公的支援のスキマと助け合いの必要性
- ◆ 他地域における助け合い活動
- ◆ 助け合い・支え合いを考えるワークショップ



講座だけで終わらせないために

一緒にできること  
を探しませんか？



生活支援プラットフォーム会議  
“わごころ会議”

# 生活支援プラットフォーム “わごころ会議”

## 活動づくりのプラットフォーム

知る・学ぶ



わがらの町の暮らし支えあい塾

考える



わごころ会議

活動する



地域活動



## もしゴミ出し支援をするなら

<h3>対象者</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時的に身体が悪い方</li> <li>そんな1-99くらい</li> <li>普段からの寄付や関係下で支援しやすい</li> </ul>	<h3>支援者</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>賛同してくれ方が集う</li> <li>ゴミ出す曜日と同じの方</li> <li>お礼をもらうことのできる支援者候補も責任感が強い</li> <li>近所の方が望ましいが、場合によっては決める</li> <li>子どもがゴミ出ししているご家庭が多い</li> <li>子どもを社会教育として、ゴミ出し支援に協力してもらう</li> </ul>
<h3>お礼のしくみ</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>決まった金額を渡す</li> <li>無償で行動、何もお礼をいらないと思えばいい</li> <li>無償で行動は、このため、有償で行動の方がいい</li> <li>有償で行動の場合、社費で金額設定を統一してほしい</li> <li>親の気持ちで行動が、お礼はいらない</li> <li>近隣で行動の場合、無償の方が親近感が湧く</li> <li>対象者は有償の方が気持ちがいい</li> </ul>	<h3>支援のしかた</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家にホビーグッズ置いて回収するのは負担が大きい</li> <li>出立前にお礼を受け取りたい</li> </ul>

# 住民参加型支援を考えてきたが・・・

買い物に連れて行ってほしい（自分で見て買いたい）。

自分の周りにはいないかな？

ゴミ出しに困っている人がいる。

買い物支援があるだけで何とか生活できるんだけど。

誰が困っているか分からない。

ゴミ出しに行っただけがをした。

そういうしくみが必要なのは分かったけど・・・

人材不足で保険外サービスが難しくなってきた。



本当にしくみが  
いるのか？

「助け合い」  
の押し付け  
じゃないか？



# 買い物

## ◆ケアマネジャーへのアンケート調査

### 【調査内容】

- ①物品別の主な購入先、②物品別の入手方法、③支援のニーズ など

食品や日用品は何とかなっている。衣類や生活雑貨が町内では手に入らないので、誰かの支援を必要としている。数年後はさらに支援が必要。

## ◆お店や移動販売業者の聞き取り

### 【調査内容】

- ①販売しているもの、②配達の有無、③お客さんの事情 など

生ものは販売しにくい。買いに来れない人が増えているので配達が増えてきている。商売として成り立たないが、辞めると困る人がいるので辞めれない。



# 買い物

やってみた! ~社協の空き車両を使った買い物支援~

輪内買い物支援

## 「いこらい」



【車両・運転】→社協

【付き添い】→地区の住民ボランティア



# 買い物

## やってみて分かったこと

- ◆ 買い物に困っている方の生の声
- ◆ 買い物に困っている様々な背景
- ◆ 何とか手伝ってあげたいという方の存在
- ◆ 地域住民の戸惑い
- ◆ 失敗や反省も・・・





# 買い物

## 買い物に困っている人の生の声 ～「困っている」の背景～



- ① 普段はコープ宅配を使っているが、やっぱり自分の目で見ていろいろ考えながら買いたい。
- ② 公共交通として市のコミュニティバスやJRがあるが、ステップが高く、帰りに荷物を持って乗り降りができない。
- ③ 食べるものは移動販売で何とかなっているが、日用品や生活雑貨、衣類が買えない。
- ④ コロナの影響で息子たちが帰省できないため、帰省してきた時に買いに連れて行ってもらっていたものが買えない。

# ゴミ出し

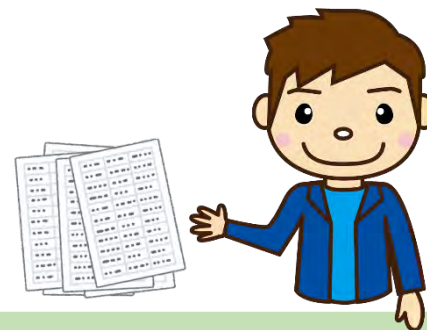
## ケアマネジャーさんとの意見交換から



### ◆ケアマネジャーへのアンケート調査

#### 【内容】

- ① ゴミ出しに困っている方
- ② 解決している方法



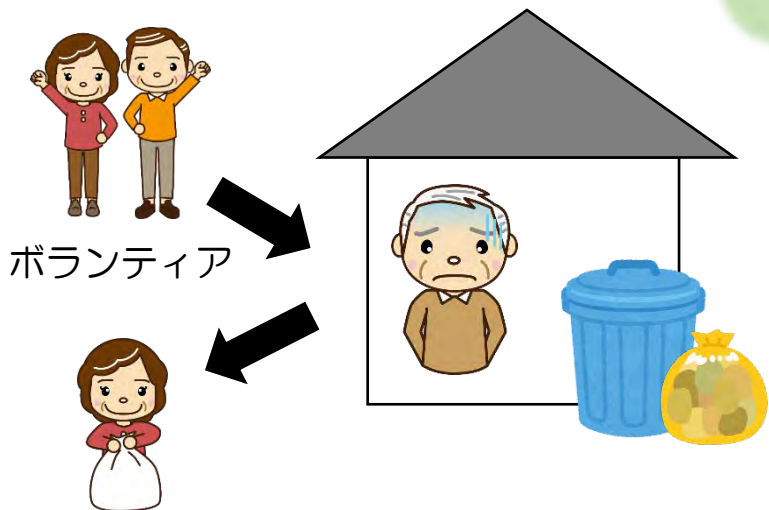
要支援相当の方を中心に困っている方が複数いる

# ゴミ出し

## やってみた! ~ボランティアと協働したゴミ出し支援~



ボランティアさんとの協働を想定した支援



# ゴミ出し

## 困っている人の生の声 ～「困っている」の背景～



- ① 自宅からゴミを出す場所までの間に大きな段差があり、重い可燃ごみが持っていけない。
- ② 自宅が2階にあり（1階は店舗）、階段が急なため1階まで重い可燃ごみを下せない。
- ③ ゴミ出し場所までが下り坂になっており、シルバーカーを使っているため特に雨の日転倒の不安がある。
- ④ ゴミ出し場所にある鉄製のふたが重くて開けられず、ケガをしたことがある。
- ⑤ 高台に住んでいるため急な階段を下りてゴミを出しに行けない。



必要としている人はいる！



力になりたい方



支援してほしい方

繋げるためのしくみが必要

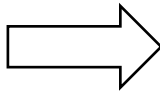
# 個人ボランティアによる支援のしくみとして提案

社会福祉協議会  
コーディネーター





住民参加型生活応援事業



ちょっとした困りごとを助け合って解決するしくみ

住民参加型生活応援事業



住民参加型生活応援事業「助っと」は、なかなか声を上げにくい「手伝って！」と「困った時は手伝うよ！」を、会員登録とお礼のしくみによってお繋ぎする助け合いのしくみです。「困っている人がいたら助けてあげたい！」という住民の皆さんと「どんなことができるかな？」を話し合い、このしくみを作りました。

こんな困りごとをお手伝い！



買い物



ゴミ出し



電球交換

など

住民ボランティア（助っとさん）がちょっとした困りごとをお手伝いします。

お礼のしくみについて

「助っと」さんによるお手伝いに対して「お礼をしたい」という方のために、お礼をする時の基準を決めています。お礼をしたい場合は「ありがとうチケット」をご購入いただき、支援していただいた時に「ありがとうチケット」でお礼を渡します。

支援内容とお礼の基準(R3.1.1現在)

ゴミ出し（週1回程度）	500ポイント/月
買い物の代行（周辺地区⇔旧町内）	500ポイント/回
買い物の代行（町内）	250ポイント/回
買い物の代行（徒歩のみ）	250ポイント/回
その他（電球交換など）	250ポイント/回



ありがとう！



チケットでお礼

ご相談は 助け合いのまちづくり  
社会福祉法人尾鷲市社会福祉協議会  
ボランティア・市民活動センター

電話 22-3246  
担当：山本・内山まで





# 他にもこんな社協事業を活用しながら

## コーディネート活動をしています。

- ◆生活支援サポーター養成講座
- ◆運転ボランティア講座～福祉有償運送運転者講習～
- ◆生活支援プラットフォーム「わごころ会議」
- ◆住民参加型生活応援事業「助っと」
- ◆輪内買い物支援「いこらい」
- ◆小地域福祉活動～地区福祉委員会～
- ◆百寿雀サロン
- ◆地域ふれあいシネマ



社会福祉協議会が受託させていただく強み？

一方で…

どう説明する？違いがよく分からない？



# 社協本体業務とSCの立ち位置の使い分け

## 社協本体の事業

福祉活動コーディネーター



## 委託事業

生活支援コーディネーター

### ◆ ボランティアセンター事業

### ◆ 生活支援体制整備事業

輪内買い物支援「いこらい」

← 各種調査

→ 試験的実施

…困っている生の声をキャッチ  
⇒背景分析(アセスメント)

→ 地区の協議

…第3層協議

### ボランティア養成講座

- 生活支援サポーター養成講座
- 運転ボランティア講座
- 災害ボランティア講座
- 子どもボランティア講座

→ 啓発・人材育成+人材発見

→ 啓発・人材育成+人材発見



Vo担当

生活支援プラットフォーム「わごころ会議」

→ 第2層協議

(新たな社会資源開発)

住民参加型生活支援「助っと」

- 買い物(代行)支援
- ゴミ出し支援

← 各種調査

→ 試験的実施

…困っている生の声をキャッチ  
⇒背景分析(アセスメント)

本日は  
お声掛けいただきありがとうございました。



少しでも参考になる部分があれば幸いです。